

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年1月31日

場所：生涯学習センター

開催地区：山北地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	<ul style="list-style-type: none"> スマートIC周辺の開発は、他地区の成功例や失敗例を視察し、参考にしたらどうか。積極的に視察して、町を動かすべき。周辺にはインターがたくさんできる。特色がないと人は集まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元のご意見を聞きながら、より良いものにしていきたいと考える。他地区のスマートICの成功事例を調査し進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none">
交通関係	<ul style="list-style-type: none"> 共和福祉バスの取り組みを他地区に広めることはできないか。他地区でも導入を検討しているので、町の補助で各地区で導入できないか。 循環バスの乗客が少ないので、小型にして台数を増やせば、利便性がよくなり、利用客も増えるのではないか。 交通網の再構築が必要である。小田原方面などの病院や買い物に利用できる循環型バスの導入をしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在共和の福祉バスは、伊勢原・御殿場まで、行っている（病院関係方面） 会員の高齢化や人口減で、登録者数が減ってきているため、共和福祉バスを清水地域などに範囲を広げる方向で考えているようだが、他地区へのエリア拡大が可能かどうかは、発足の経緯から共和地区全体の意思合意が必要なため、地域も今後の課題と捉えている。 免許証返納の問題も絡むので循環バスを含めて交通網の再構築は、委員会の重要課題として町と連携し検討して行く。 通学時間帯は本数が多いが、日中は少ない。買い物に利用したいが本数が少ない、これからの課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 町では令和2年度から福祉タクシー券を富士急湘南バスで回数券としても利用できる制度に拡充する。循環バスの町内拡充は現時点では難しい。町の交通網のあり方については、庁内ワーキンググループで引き続き検討している。 議会としても交通網の再構築問題については、町ワーキンググループと情報共有のなか、調査研究を進めていく。
観光関係	<ul style="list-style-type: none"> つぶらの公園・大野山の観光活用とは。 つぶらの公園付近には、過去に採掘した温泉がある。足湯につかりながら富士山を眺められる場所にしたらどうか。 温泉を利用するには、掘り直す必要があり費用がかかりすぎる。 足湯だけでは人は集まらない。 大野山にいる牛を温泉に入れたら観光として面白い。 	<ul style="list-style-type: none"> スマートICができるので、もっと観光に活用できないか。また、簡保の跡地を民間で活用できないか研究を始めた方がよいと考えている。 大野山周辺はスマートIC周辺の開発にも関係する。簡保の跡地周辺も含めた利活用も議会として検討していかなければならないと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして、つぶらの公園～大野山までのハイキングコースの整備、案内板等の設置を考えている。
人口対策関係	<ul style="list-style-type: none"> 人口を増やすのは無理。活性化には関係人口を増やすことが大事だ。山北にはまだまだ素晴らしい観光資源がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 	

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日: 令和2年1月31日

場所: 生涯学習センター

開催地区: 山北地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
総務・その他	<ul style="list-style-type: none"> 台風19号ではペットと一緒に避難してきた人を受け入れる態勢がなかった。防災に関して町は意識がうすいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 町としては避難場所として、ペットの受け入れは考えていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 台風19号に絞って検証会議を行い、その中で検討して対応する。
	<ul style="list-style-type: none"> 山北駅前交番廃止について 	<ul style="list-style-type: none"> 山北地区では自治会が廃止中止を要望する署名を県に提出する予定である。 	<ul style="list-style-type: none">
高齢者・障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 社協のお出かけ号1台に乗れるのは、本人と要介助者の2人なので利便性が悪い。複数人乗れると便利ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用拡大は、これから考えていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣他町の社協での運用状況を調査し、山北町社協にも生かせることは、提案する。
議員のなり手・報酬・定数関係	<ul style="list-style-type: none"> 議員を半数にし報酬を倍にして専従で働いたらどうか。 議員の部屋を作り、専用のパソコンを置いて、いつでも仕事ができるようにしたらどうか。開放しておくことで、町民も議員の部屋を気軽に訪問できる。 議員定数は町を3ブロック分けて、1ブロック4名とし12名が良いのでは。 定数を決めるのは議員だが、町民ともっと対話していくべき。 これからは、仕事もテレワークやAIなど多様な働き方ができるので、議員も職員も少なくて良い。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは自分たちの活動の見える化が重要と考える。町民との対話をしなければ理解は得られないと思っている。 	<ul style="list-style-type: none">
議会への要望	<ul style="list-style-type: none"> 議会改革先進議会の視察研修は何を目的に行ったのか 	<ul style="list-style-type: none"> 議会と町民との距離を縮めるために、議会広報モニターや、議会政策サポーター制度を取り入れるなど積極的に議会改革を推進している様子を視察してきた。町民との対話を積極的に取り入れるための改革を進めている議会を視察した。 	<ul style="list-style-type: none">
	<ul style="list-style-type: none"> 議会報告会の開催時間を変えたらどうか。 議会報告会の広報が足りない、新聞広告に出したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間場所、開催方法や内容など随時検証しながらより良い会にしていく。 	<ul style="list-style-type: none">